

よりの確な初動対応と円滑な復旧体制への移行を目指し 地震訓練を実施

京葉ガスは11月15日、大地震の発生を想定した訓練を実施しました。初動対応としてガス供給設備などの被害情報の集約方法を確認し、ホームページによる速やかな情報発信を試行したほか、ガス供給停止の際の早期再開を目指した復旧体制への移行について訓練しました。



対策本部の訓練

当社では、ガス供給区域で震度5弱以上の地震が発生した場合、昼夜を問わず地震災害対策本部を設置し、非常体制を組織します。毎年実施する地震訓練ではこれまで、供給班、人事班、電話受付班などの班ごとに行っていましたが、今回は先の東日本大震災における対応を踏まえ、各班の連携強化による的確な初動対応の遂行と復旧体制への円滑な移行を目的とし、実施しました。

非常体制立ち上げの際の動員状況に応じた人員の融通や、ガス供給設備や社屋の被害状況などの情報を迅速に集約、共有する訓練を行い、併せて、お客さまへの的確な情報提供に向けた各班の連携と、復旧作業に向けた体制を円滑に確立する手順を確認しました。供給停止の状況などについては、速やかに模擬ホームページ上に公開しました。

対策本部では、ガス供給停止の判断から復旧方針の決定までの一連の流れを確認する訓練を行いました。